

徳雲寺本堂、徳雲寺弁天堂(とくうんじほんどう、とくうんじべんてんどう)について

員 数：2棟

所 在 地：西尾市吉良町

所 有 者：宗教法人 徳雲寺

名 称	形 式	大 き さ	建設年代	改 修 歴	登録基準
徳雲寺本堂	木造平屋建、瓦葺	建築面積 214㎡	明治16年 (1883)竣工	—	国土の歴史的 景観に寄与し ているもの
徳雲寺弁天堂	木造平屋建、瓦葺	建築面積 6.3㎡	大正7年 (1918)竣工	—	国土の歴史的 景観に寄与し ているもの

【概要】

徳雲寺は西尾市吉良町に所在し、布施行者で知られる尼僧^{にそうきつたほんしん}颯田本真の開いた浄土宗の寺院である。本堂は東面して建ち、奥行の深い寄棟造り^{とうめん}^{よせむねづく}1妻入りの堂で、大きな外陣^{げじん}2が特徴的である。仏堂的な装飾をほとんど用いない簡素な造りであり、念仏道場の趣を伝える。

弁天堂は、颯田本真に帰依した信徒の泉谷儀三郎^{いずたにぎさぶろう}により寄進された、小規模な仏堂であり、内部には本尊^{ほんぞん}である弁財天像^{まつ}を祀る。正面一間、背側面二間と小規模であるが、気品を備え、篤い信仰を窺わせる。

寄棟造り¹ 4方向に傾斜する屋根面をもつ屋根のこと。

外陣² 神社の本殿や寺院の本堂において一般の人々が礼拝するところ。



徳雲寺本堂 外観



徳雲寺弁天堂 外観